

日立ダイアグモニタHDM-8000操作ガイド
トヨタ/整備モード(例:50系プリウス)

注意事項/必ずお読みください

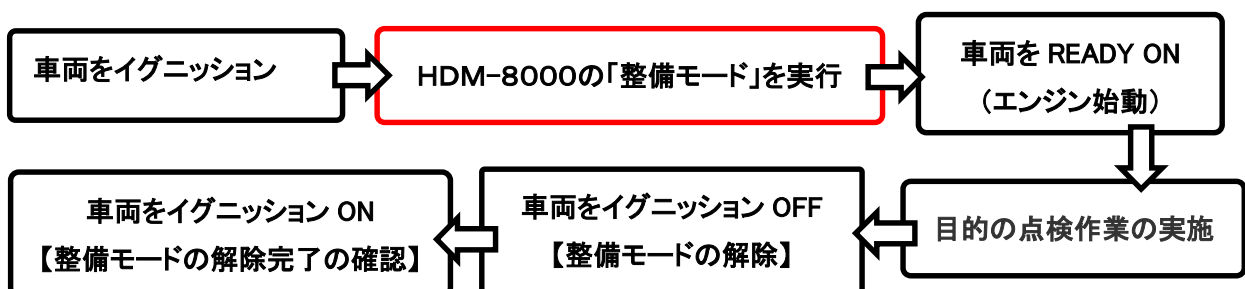
- 実際の作業に当たっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で作業手順、作業上の注意点を参照の上、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更される為、本資料に掲載する機能が使用できない場合がございます。
- 整備モードを実行された際、警告灯が点灯した場合は、HDM-8000を使用してダイアグコードを確認し、必ずダイアグコードの消去を行ってください。

1. 整備モードの流れ

- HV車はエンジンが暖機状態でHVバッテリーの充電状態が良好な場合、停車中にエンジンを自動停止させます。このため点火時期の点検など、停車中にエンジンの連続運転の維持が必要なときに「整備モード」を使用します。
- HDM-8000のトヨタソフトが対応している「整備モード」と使用目的は下表のとおりです。

整備モード	主な使用目的	制御内容
2WD整備モード 【2WD(排ガス測定用)】	●点火時期点検などのエンジン調整 ●車検時のアイドル点検CO/HC点検など ●スピードメーターテスターでの試験 ●2輪シャシダイナモメーターでの試験など	●エンジン強制アイドルリング ※シフトポジションがPの時 ●TRC装置の作動解除 ●リヤモーター制御シャットダウン ※2WD走行
2WD認証モード 【2WD(TRC禁止用)】	●スピードメーターテスターでの試験 ●2輪シャシダイナモメーターでの試験など	●TRC装置の作動解除 ●リヤモーター制御シャットダウン ※2WD走行
4WD整備モード 【4WD(排ガス測定用)】	●点火時期点検などのエンジン調整 ●車検時のアイドルCO/HC点検など ●4輪シャシダイナモメーターでの試験など	●エンジン強制アイドルリング ※シフトポジションがPの時 ●TRC装置の作動解除
4WD認証モード 【4WD(TRC禁止用)】	4輪シャシダイナモメーターでの試験など	TRC装置の作動解除

- 「整備モード」による点検作業は下記の流れとなります。

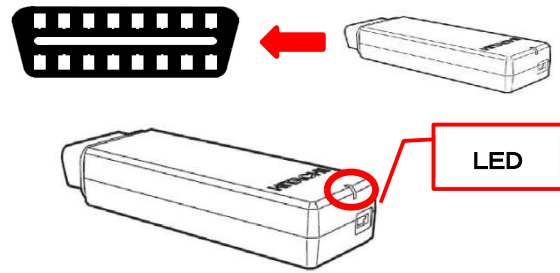


(次ページに続きます)

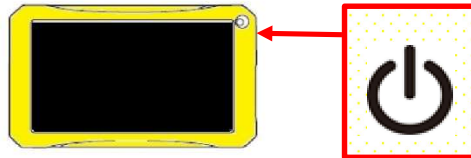
2. HDM8000操作手順(作業要領含む/実行例:2WD 整備モード)


【手順001/車両へのHDM-8000の接続と起動】

- ①HDM-8000のインターフェースボックスを車両側の診断コネクタに接続して下さい。
- ②HDM-8000のインターフェースボックス本体側LED が緑色に点灯していることを確認して下さい。



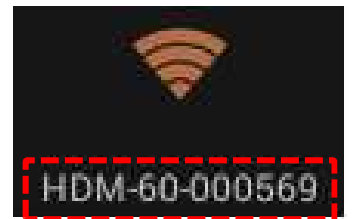
- ③HDM-8000のタブレット本体の右側面にある電源スイッチを押して、タブレットを起動して下さい。



- ④タブレットが起動しましたら画面上のカギのマーク  に指を当てて右側にスライドさせて、画面ロックを解除して下さい。
- ⑤タブレットとインターフェースボックスが無線(Wi-Fi/ワイファイ)で接続されているか確認を行います。まず、「車両一覧」画面が表示されましたら画面右上に指を当てて、そのまま下におろして「クイック設定ツール」を表示して下さい。



- ⑥「クイック設定ツール」内にあるWi-Fi(ワイファイ)のアイコンが右図の様に色が反転した状態で表示され、その下にHDM8000のインターフェースボックスのシリアル番号(右図の破線で囲われた文字列)が表示されていれば無線での接続がされております。次の【手順002】に進みます。



【手順002/クイック設定ツールの終了】

「クイック設定ツール」の下端部に指を当てたまま上方に上げて「クイック設定ツール」を終了させて下さい。



(次ページに続きます)


【手順003/車両側のイグニッションキーON】

IGキースイッチをONにしてください。(手順004に進みます)

【手順004/「故障診断」のタップ】

① タブレットの「車両情報」の欄(赤の破線で囲われた部分が空欄であることを確認して下さい)。(※1、※2)



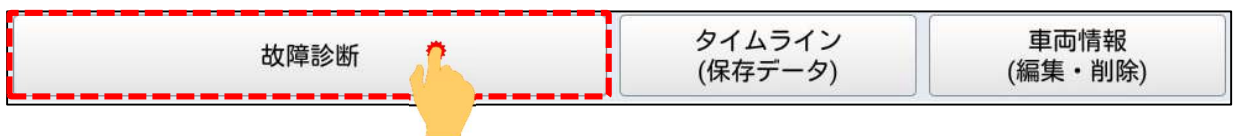
※:「車両情報」の欄に作業中の車両と異なる車両の情報が表示されている場合は画面下部の「戻る」
 ボタンをタップすると空欄になります。

② 画面上部の「故障診断」ボタンをタップして下さい(【手順005に進みます】)。

【アプリ設定をフル機能モードに設定している場合】



【アプリ設定を故障診断モードに設定している場合】



【手順005メーカー選択】

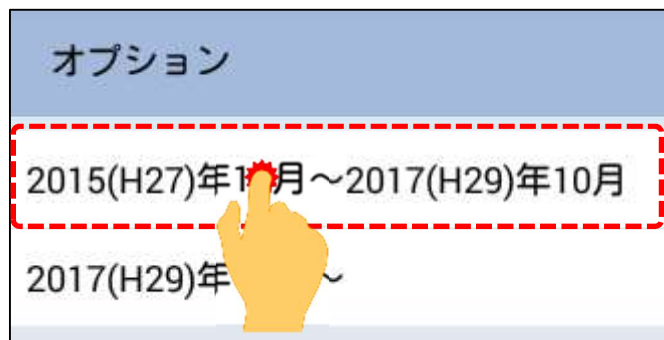
画面に「接続中...しばらくお待ちください」が表示されたあと「メーカー選択(診断ソフトの選択画面)」が表示されます。「トヨタ/レクサス」をタップして下さい。



(次ページに続きます)

【手順006/オプション(年式と装備)の選択】

画面にソフト名の表示から「イニシャライズ中…」と切り替わり、その後、「オプション」の画面が表示されます。入庫車両に該当する年式をタップして選択してください。(【手順007】に進みます)



【手順007/作業サポートの選択】

「トヨタメインメニュー」が表示されましたら「作業サポート」をタップしてください。「車両システム確認中…しばらくお待ちください」と表示され、作業サポート機能の対象システムの確認が実行されます。(【手順008】に進みます)



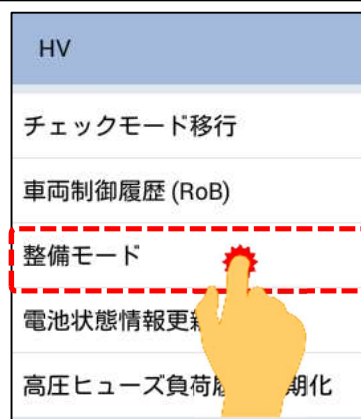
【手順008/HVの選択】

「作業サポート」が表示されましたら、対象システム一覧のなかから「HV」をタップしてください。



【手順009:「整備モード」の選択】

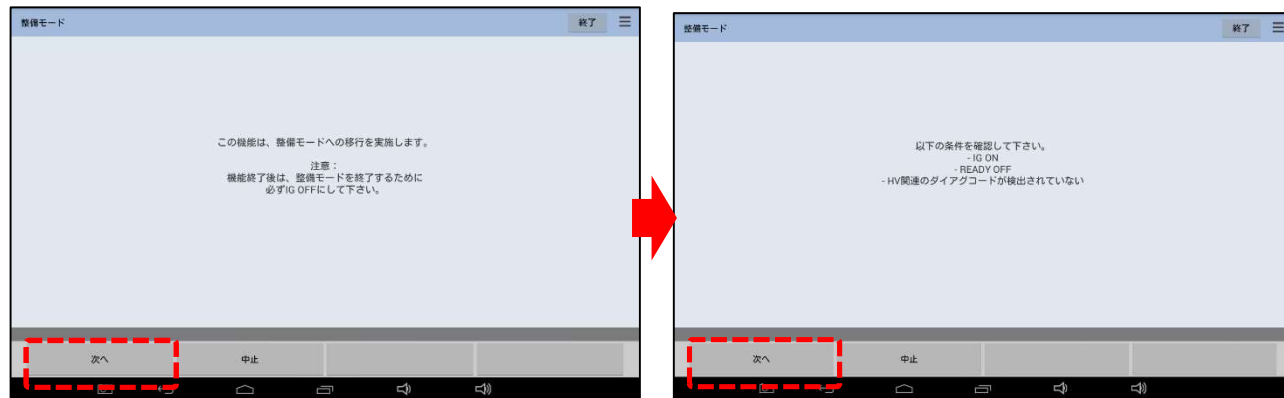
「システム確認中しばらくお待ちください」と表示された後、「HV」での作業サポート選択画面が表示されます。一覧から「整備モード」をタップしてください。



(次ページに続きます)

【手順010:機能の概要説明画面から整備モードの実行条件への移行】

機能の概略説明が表示されます。それぞれの表示内容を確認後、画面左下の「次へ」をタップしてください。



【手順011:「整備モード」の実行】

整備モードの選択画面が表示されます。実行したい整備モードをタップしてください。画面が「整備モードに移行しました」の表示に切り替わります。



【手順012:エンジンの始動】

下記の手順でエンジンを始動してください。

- ①マルチディスプレイに“MAINTENANCE MODE”又は“CERTIFICATION MODE”が表示されているか確認してください。
- ②ブレーキペダルを踏みながら、パワー(イグニッション)スイッチを押して、エンジンを始動して下さい。
- ③READY インジケータランプが点灯し、エンジンが連続運転になります。

【2WD モードでの補足】

- 整備モード中は、コンビネーションメータのハイブリッド・システム警告灯が1秒周期で点滅します。
- 2WD整備モード(2WD(排ガス測定用))でのアイドル回転数は約1000 r/min です。
- Pポジション時のみ、アクセルペダルを踏むとアクセル開度中程度までは約1500 r/min、それ以上全開までは約2500 r/min でレーシングします。
- 2WD整備モード(2WD(排ガス測定用))中にダイアグコードが記憶された場合、マスターウォーニングランプが点灯します。
- 2WD整備モード(2WD(排ガス測定用))で作業中にマスターウォーニングランプが点灯し続けた場合は、2WD整備モード(2WD(排ガス測定用))を停止してダイアグコードの点検を行ってください。

【手順013:点検作業の実施】

点検作業を行ってください。

【手順014:整備モードの解除】

- ①点検作業が完了したら画面左下の「終了」をタップしてください。
- ②車両側をIG OFFしてください。
- ③再度イグニッション ON し、マルチインフォメーションディスプレイの“MAINTENANCE MODE”または“CERTIFICATION MODE”の表示が消灯していれば完了です。【完了】